

地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和3年度 年度計画

目次

- 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 医療サービス
 - (1) 良質な医療の実践
 - (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
 - (3) 災害・感染症等への適切な対応
 - 2 患者サービス
 - (1) 患者サービスの向上
 - (2) 情報発信
 - 3 医療の質の向上
 - (1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修
 - (2) 信頼される医療の実践

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実
 - 2 事務部門の機能強化
 - 3 働きがいのある職場環境づくり
 - 4 法令遵守と公平性・透明性の確保

- 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 持続可能な経営基盤の確立
 - (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化
 - (2) 投資財源の確保
 - 2 収支改善
 - (1) 収益確保
 - (2) 費用削減

- 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
 - 1 福岡市立こども病院における医療機能の充実
 - 2 福岡市民病院における経営改善の推進

- 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 - 1 予算（令和3年度）
 - 2 収支計画（令和3年度）
 - 3 資金計画（令和3年度）

第6 短期借入金の限度額

- 1 限度額
- 2 想定される短期借入金の発生事由

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（令和3年度）
- 2 人事に関する計画

※本文中の丸数字については，第4期中期計画に対応した番号を記載

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

(1) 良質な医療の実践

福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。

ア 福岡市立こども病院

- 「福岡県新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」として、引き続き、福岡県における新型コロナウイルス感染症にかかる小児救急医療の提供を行う。
- 福岡県の地域周産期母子医療センターとして、地域における母体搬送・新生児搬送を受け入れ、高度な周産期医療を提供するとともに、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、地域における周産期救急搬送体制の一翼を継続的に担う。
- 移行期支援外来（たけのこ外来）を中心に、移行期患者教育プログラムを着実に実施する。
- 福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に引き続き参加し、地域の小児在宅医療の推進に努める。
- 入退院支援部門と地域医療連携部門の整備等を実施し、多職種協働による入退院支援部門の拡充を図る。
- 3Dプリンタを利用した臓器や骨などの医療用実体モデルの製作を行い、手術シミュレーション、患者や家族への説明、学生・研修医などの教育に活用する。
- 医師業務のタスクシフティング、機器・人員の集約化及び診断技術の教育を目的として、院内にエコーセンターを設置する。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）	108,393	112,000
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率）※（％）	215.5 (90.2)	195.0 (81.6)
新規入院患者数（人）	7,428	6,530
手術件数（件）	2,929	2,740
救急搬送件数（件）	1,380	1,000
PICU（小児集中治療室）利用率（％）	98.1	98.1
NICU（新生児集中治療室）利用率（％）	95.7	95.5

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延入院患者数÷年延病床数×100）に基づき算出

イ 福岡市民病院

新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行うことで、患者と職員の安心と安全を十分に確保するとともに、特に手術や救急受入れについては感染症対策に係る高い専門性と、高度専門・救急医療に係る充実した診療体制を活かし、コロナ禍においても、可能な限り通常の診療体制を維持することで、公立病院に求められる役割を果たす。

- ① 福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき、がん、心疾患、脳卒中に係る難易度の高い鏡視下手術やカテーテル治療など、高度専門医療の更なる充実を図る。
- ② 入院を必要とする重症度の高い救急患者の受入れを円滑に行うため、救急受入れに係る体制や受入病床の運用を見直すなど、救急医療の更なる充実を図る。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり入院単価(円)	64,081	65,000
1日当たり入院患者数(人) (病床利用率)※(%)	183.9 (90.2)	174.2 (85.4)
新規入院患者数(人)	4,525	4,310
手術件数(件)	3,719	3,448
救急搬送件数(件)	2,820	2,732
救急搬送患者の入院率(%)	44.0	43.6

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延入院患者数÷年延病床数×100)に基づき算出

(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

ア 福岡市立こども病院

- ① 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を推進するとともに、「こども病院カンファレンス」等のオープンカンファレンスをWEB開催するなど、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に取り組む。
- ② 福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、地域におけるネットワーク構築や院内における退院支援、多職種を対象とした研修会等を行い、地域の小児在宅医療の推進に努める。

地域医療連携室ニュースレターを年4回発行し、病院の診療体制・診療内容の紹介、地域医療連携に関する情報、カンファレンス・研修会の案内など、登録医療機関への情報発信を継続的に行っていく。

【目標値】

指標		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新規紹介患者数（人）		8,605	7,400
紹介率（%）		94.8	90.0
逆紹介率（%）		68.7	66.7
オープンカンファレンス	回数（回）	31	18
	参加者数 ※1（人）	805	600
登録医療機関数（施設）		284	285
退院支援計画件数 ※2（件）		187	200

※1 院外参加者数のみ

※2 退院支援計画書作成件数

イ 福岡市民病院

- ① 地域医療支援病院として、地域の医療機関に対し、ICTを活用した積極的な情報発信や、紹介患者の円滑な受入れなど、病病・病診連携を積極的に推進する。

また、WEBを活用したオープンカンファレンスの開催など、より参加しやすい仕組みを構築した上で、地域の医療従事者への教育研修等を積極的に行い、地域医療への貢献に取り組む。

- ③ 地域包括ケアシステムにおいて中心的な役割を果たすため、回復期・慢性期病院や地域の在宅医療・介護を担う医療機関等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円滑な入院受入れを行う。

また、入院が長期化するリスクのある患者が円滑に退院し、より最適な在宅療養に移行できるよう、認定看護師による退院前・退院後訪問指導等に積極的に取り組む。

【目標値】

指標		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新規紹介患者数（人）		5,147	4,729
紹介率（%）		88.7	88.0
逆紹介率（%）		152.3	152.2
オープンカンファレンス	回数（回）	108	50
	参加者数 ※1（人）	880	500
登録医療機関数（施設）		273	273
退院調整件数 ※2（件）		1,109	1,068

※1 院外参加者数のみ

※2 入退院支援加算1・介護支援連携指導料の合計件数

(3) 災害・感染症等への適切な対応

- 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画を始め、院内のBCP（事業継続計画）等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施等を通じ、職員の防災意識を高める。
- 非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。

ア 福岡市立こども病院

- 消防訓練や緊急時参集システムを活用した非常招集訓練及び大規模災害を想定した患者受入訓練を行うとともに、防災マニュアル及びBCP（事業継続計画）の定期的な見直しや非常用発電機、災害用備蓄品、手指消毒液・PPE（個人用防護具）等の備蓄品の点検を徹底し、大規模な災害・感染症等発生時の万全な対応に備える。
- 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として、関係機関や被災した医療機関等との連携を図り、的確に医療救護活動の支援に努める。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
訓練開催数（回）	3	5
災害時参集訓練参加率（％）	—	90

イ 福岡市民病院

- 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなど、的確に医療救護活動の支援に努める。
- 新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き重点医療機関として、第3波以降の感染拡大時の対応や、ワクチン接種等の事態収束に向けた取組への積極的な協力など、福岡市の中核的な役割を果たす。
- 今後の新興感染症発生時においては、感染症指定医療機関として、他の医療機関等との連携を図りながら、一早く体制を整備し福岡市における対策の先導的かつ中核的な役割を果たす。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
訓練開催数（回）	6	5
災害時参集訓練参加率（％）	—	90

2 患者サービス

(1) 患者サービスの向上

ア 福岡市立こども病院

- ① 退院時アンケート等やホームページによる患者・家族からの意見等を踏まえ、ボランティアとの共働を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用により外来予約システムの機能を拡大する等、患者及び家族の利便性の向上を図る。
- ② 患者家族の医療等の相談について、相談支援窓口において適切に対応する。
- ③ 院内の接遇・療養環境委員会を中心に、関係部署とも協議しながら、院内環境を整備するとともに、福岡市が推進する「一人一花運動」の趣旨に沿って、花壇等の管理を適切に行い、患者・家族の療養環境改善を図る。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	89.0	89.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等

イ 福岡市民病院

- ① 職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査や外来待ち時間調査等を引き続き行い、患者のニーズを的確に把握して改善を図るとともに、ICT（情報通信技術）の積極的な活用について検討する。
- ② 患者またはその家族等からの医療・福祉に関する相談などについて、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応する。
- ③ トイレ等の水回り衛生設備の段階的な改修を行うなど、療養環境の整備に努めるとともに、高齢の方々及び単身の方々の入院生活のサポートとして、入院時に必要となる衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類等の日額定額のレンタルサービスの導入を検討する。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	89.6	89.8

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容，診療内容等

(2) 情報発信

ア 福岡市立こども病院

- 診療内容，医療サービスや，「病院指標（独自指標を含む）」に示される治療実績などについて，広報誌やホームページ等を活用してわかりやすい情報発信に取り組み，患者が安心して受診できるよう，市民に開かれた病院づくり

に努める。

- ホームページのコンテンツの工夫やSNSを活用した積極的な情報発信に取り組むとともに、地域の子育て世代や、元気な高齢者を対象に、多世代の交流や医療を通じて子育て・孫育てを実現することを目的に、CGG (Child Grandchild Good-Care) プログラムを引き続き実施する。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
病院ホームページのアクセス数 (件)	377,866	390,000
広報誌発行回数 (回)	3	4

イ 福岡市民病院

- ホームページの全面リニューアルや医療機関向け広報ツールの作成など、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりに努める。
- 地域住民の健康意識の底上げを行うため、ICTを活用した市民向け出前講座を企業向けに実施するなど、幅広い年代層に向けて情報発信していく。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
病院ホームページのアクセス数 (件)	180,889	191,000
広報誌発行回数 (回)	4	4

3 医療の質の向上

(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修

ア 福岡市立こども病院

- ① 新型コロナウイルス感染症による収支への影響も踏まえながら、適正な人員配置ならびに優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。意欲ある研修医等の確保を目的として、ソーシャルネットワークサービスを活用し、カンファレンスや研修会、教育プログラム等の情報発信に努める。看護師については、意欲ある人材を確保するため、ICTを活用したオンライン就職説明会等を行うとともに、専従教育担当職員による看護職員等への研修を重点的に実施するなど、職員の資質向上に努める。
- ② 新規採用職員を対象とした情報セキュリティ・人権・接遇などの研修を行うとともに、全職員を対象に医療の質向上に資する研修を行うほか、WEB研修を積極的に活用するなど内容の充実を図り、受講促進に努め、職員の資質向上を図る。
- ③ 専門性や能力の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度の活用を促し、有資格者の拡大に努める。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
医療の質向上研修受講率	—	90

イ 福岡市民病院

- ① 医師，看護師を始め職種毎に，医業収益に見合った定数管理を確実に実行することで，職員の適正数の確保に努める。
ICTの活用等による業務の効率化を推進するなど，ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み，年休の取得率向上や時間外勤務の縮減に努め，職員が働きやすい職場環境づくりを推進し，優れた人材の確保に努める
- ② 新規採用職員を対象とした情報セキュリティや人権，接遇研修のほか，全職員を対象とした医療の質向上に資する研修等を実施するなど，院内研修の充実を図るとともに，外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。
- ③ 看護部においては，認定看護師等資格取得支援制度を活用した積極的な資格取得を奨励し，専門職としての知識・技術の向上を図る。また，看護部以外の部門においても，専門職としての知識・技術の向上を図るため，資格取得支援制度の充実に努める。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
医療の質向上研修受講率	—	90

(2) 信頼される医療の実践

ア 福岡市立こども病院

- ① 感染対策室，院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により，院内感染防止対策を徹底するとともに，医療安全管理者を中心としたTeamSTEPの推進によるリスクマネジメントや，医療従事者への教育・研修を実施するなど，医療安全対策の徹底を図る。
新型コロナウイルス感染症の対応は，引き続きCOVID-19対策本部を中心とした，組織横断的な協力体制の維持を図る。
- ② クリニカルパスの充実により，ケアの標準化，均質化を図り，医療の質の向上に努めるとともに，その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント／アセントの徹底を図り，患者中心の医療を実践する。
- ③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させるとともに，多職種による栄養サポートチーム（NST）により栄養管理の充実を図り，安全・安心な医療を提供する。

PICUをはじめとする集中治療系病棟の安全性の向上及び医師・看護師

の負担軽減を図るため、薬剤師の病棟業務を推進する。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
医療安全等の研修開催数（回）	57	50
薬剤管理指導件数（件）	4,929	4,000
栄養食事指導・相談件数（件）	1,412	1,300

イ 福岡市民病院

- ① 新型コロナウイルス感染症対策における経験を踏まえた院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心とした教育研修の実施や、施設との医療安全相互チェックを継続するなど、医療安全対策の徹底を図る。
- ② 医療の質の向上を目的としたクリニカルパスを積極的に活用し、より分かりやすいインフォームド・コンセントの徹底やホームページへの公開による治療内容の可視化など、患者中心の医療を実践する。
- ③ 令和2年1月に受審し、5月に認定を受けた病院機能評価において、明確となった課題等に対する改善の取組を継続するとともに、医師をはじめとした多職種によるチーム医療の推進や患者指導の充実を図るなど、安全・安心な医療を提供する。

【目標値】

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
医療安全等の研修開催数（回）	26	25
薬剤管理指導件数（件）	9,588	9,000
栄養食事指導・相談件数（件）	1,144	993
がん患者指導件数（件）	8	24

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

- ① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。
- ② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。

こども病院においては、戦略的分析チーム（S a T）による定期的なプレゼンテーションを通じて、病院運営や経営改善に資する提案を行っていく。また、DX（Digital Transformation）については、こども病院においてワーキングチームを設置するなど、業務改善を推進する。

2 事務部門の機能強化

- ① 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、事務のマニュアル化や業務の可視化等に努めるとともに、ICT技術の更なる活用を図り、情報共有や業務の効率化を推進する。
- ② 事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、テーマごとの職場内研修等の実施により、効果的なOJT（On the Job Training）に繋げる。
職員のキャリアプランを踏まえた適材適所の人事配置に努める。
事務作業の自動化・効率化を推進することを目的に導入したRPA（Robotic Process Automation）について更に活用し、事務作業の軽減を図る。

3 働きがいのある職場環境づくり

- ① 職員が安心して働き続けることができるよう、福利厚生 of 更なる充実に取り組むとともに、育児・介護等の支援制度の周知徹底はもとより、研修や会議等を通じて、所属長を始め職員の意識改革を図る。
- ② 医師をはじめとする各職種によるタスクシフティングを進めるなど、職員の負担軽減に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、時間外勤務の適正化や年休の取得率の向上を図る。
令和2年4月に策定した「心の健康づくり計画」に基づき、メンタルヘルス対策に積極的に取り組み、心身ともに健康で働きやすい環境づくりを推進する。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、職員がメンタルサポートをより受けやすい環境作りに努める。
ハラスメント防止に向けた意識醸成を図るため、全職員を対象とした研修会を開催する。
ICTの活用による事務作業の自動化・効率化を推進し、事務作業の軽減を図る。
- ③ 職員のモチベーション向上を図る観点から、医師や管理職を対象とした人事評価制度を実施するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた人事・給与制度の改善に取り組む。

【目標値】

（単位：％）

指標	市立病院機構全体	
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新採・転入職員とのメンタルヘルス面談 実施率	—	90

4 法令遵守と公平性・透明性の確保

- ① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するため、管理監督者を対象としたコンプライアンス研修を実施することにより、チェック機能を強化し、不適切な事務処理や不祥事を未然に防止する。

監事（弁護士、公認会計士）及び会計監査人による監査等の実施により、内部統制を適正に維持し、市立病院として適正な病院運営を行う。

- ② 個人情報の保護及び情報公開に関しては、情報セキュリティ研修等を通じて職員の教育を徹底することにより、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。また、カルテ等の診療情報に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。

【目標値】 (単位：%)

指標	市立病院機構全体	
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
コンプライアンス研修受講率	—	100
情報セキュリティ研修受講率	—	100

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 持続可能な経営基盤の確立

(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化

ア 福岡市立こども病院

毎週開催の執行部会議，毎月開催の運営会議において，新型コロナウイルス感染症等による医療環境の変化や病院の経営状況を踏まえ，取り組むべき課題を明確にしたうえで，収益の確保及び費用削減に取り組むとともに，月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し，経営分析や他病院との比較・分析を行うなど，効率的な病院経営を行う。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
経常収支比率	108.2	100.9
医業収支比率	93.4	87.0

イ 福岡市民病院

新型コロナウイルス感染症への対応など，福岡市の中核病院としての役割を果たしながら，市立病院として求められる高度専門，救急医療を提供し，病床稼働率の向上，救急患者の受入れ及び手術件数の増加を図るなど，収益の確保に努める。併せて，医療の質を担保しながら人員体制等の最適化を図るなど，収支改善に努める。

【目標値】

(単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
経常収支比率	95.8	95.8
医業収支比率	87.2	81.3

(2) 投資財源の確保

独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。

2 収支改善

(1) 収益確保

ア 福岡市立こども病院

- ① 循環器、周産期及び手術・集中治療センターを中心に、関連科との連携を密にし、高度専門医療、小児救急医療及び周産期医療の充実並びに病院設備の効率的な稼働を図る。

各種補助金を的確に活用することにより、収入の確保を図る。

診療報酬全般について、随時的確な情報収集を行い、適切な施設基準の取得や維持管理に努める。

- ② 保険診療検討ワーキングチームを中心に査定内容の分析・対策立案等を行うとともに、令和2年度に実施したレセプト精度調査結果を踏まえて、診療報酬請求のさらなる精度向上に努める。

医事課職員やMSWによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、回収困難事案については、法律事務所への業務委託によって確実な回収を図る。

【目標値】 *再掲

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり入院単価(円)*	108,393	112,000
1人1日当たり外来単価(円)	11,492	11,620
1日当たり入院患者数(人)* (病床利用率)※(%)*	215.5 (90.2)	195.0 (81.6)
新規入院患者数(人)*	7,428	6,530
平均在院日数(日)	9.7	9.9
1日当たり外来患者数(人)	389.5	363.2
手術件数(件)*	2,929	2,740
救急搬送件数(件)*	1,380	1,000

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延入院患者数÷年延病床数×100)に基づき算出

イ 福岡市民病院

- ① 重症患者の円滑な受入れと確保を目的とした「ICU・救急プロジェクトチーム（仮称）」を設置し、がん、心疾患、脳卒中、脊椎疾患等に係る難易度の高い手術症例の適切な確保に取り組む。

また、診療体制の充実等による高度専門医療への取組に関して、紹介元医療機関等に対する訪問活動を通じた情報発信の強化など、紹介患者の確保に努める。

- ② 診療報酬改定等を踏まえ、適切な施設基準の取得及び維持管理に努める。

また、診療報酬請求に係る精度を高めるようレセプトチェックシステムのカスタマイズを引き続き実施し、正確なレセプト請求を行うことで、査定率の減に取り組むとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。

【目標値】*再掲

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）*	64,081	65,000
1人1日当たり外来単価（円）	22,965	23,000
1日当たり入院患者数（人）* （病床利用率）※（%）*	183.9 (90.2)	174.2 (85.4)
新規入院患者数（人）*	4,525	4,310
平均在院日数（日）	12.7	12.6
1日当たり外来患者数（人）	219.7	212.7
手術件数（件）*	3,719	3,448
救急搬送件数（件）*	2,820	2,732

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延入院患者数÷年延病床数×100）に基づき算出

(2) 費用削減

ア 福岡市立こども病院

- ① RPA（Robotic Process Automation）をはじめとするICTの活用による業務の効率化を推進し、人員配置ならびに給与比率の適正化に努める。
- ② SPD事業者やコンサルタントと共同して、他の医療機関とのベンチマーク分析及びそれに基づく価格交渉の徹底や同種同効品への切り替え等を行い、診療材料費の更なる削減に取り組むとともに、委託費等の経費全般においても、契約手法の見直しに努め、費用削減を図る。
- ③ PFI事業者から予防保全を前提に提案・策定された修繕更新計画に基づき、適切に管理を行い、建物・設備の長寿命化ならびに維持・修繕費用の縮減を図る。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.2	63.4
材料費対医業収益比率	17.5	18.4
うち薬品費対医業収益比率	5.5	6.2
うち診療材料費対医業収益比率	11.6	11.9
委託費対医業収益比率	9.3	11.3
ジェネリック医薬品導入率 ※	89.9	85.0

※数量ベース

イ 福岡市民病院

- ① ICTの活用等による業務の効率化を図るとともに、職員の適正配置を行い給与比率の適正化に努める。
- ② SPD事業者による診療材料費削減結果等の報告会を実施し、詳細な現状把握や他病院との比較分析等を行うとともに、価格交渉にあたっては多職種によるCOP (Cost Optimization) チームを中心に、SPD受託業者と積極的に連携し、医業収益に対する診療材料比率の縮減等に取り組む。
- ③ 令和2年度に再度見直しを実施した中長期修繕計画に基づき、維持・修繕費用の削減を図る。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
給与費対医業収益比率	62.9	67.2
材料費対医業収益比率	27.0	26.2
うち薬品費対医業収益比率	8.4	8.0
うち診療材料費対医業収益比率	18.4	18.1
委託費対医業収益比率	7.6	8.4
ジェネリック医薬品導入率 ※	88.7	88.7

※数量ベース

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 福岡市立こども病院における医療機能の充実

- 臨床研究や検証的臨床試験に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献する。
- 国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、研修活動等を行う。
- 高度医療を行う小児総合医療施設として患者の治療・救命に全力を尽くすとともに、患者・家族の選択肢の一つとして、臓器提供の申し出がなされた際は円滑に対応できるよう、院内体制の維持するため必要な取組を行う。

- 個人や企業からの支援確保に向け積極的な情報発信や働きかけを行うことにより、研究基金・療養環境整備基金・患児家族滞在施設整備基金の造成を図る。
- 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用等に係る取組を進める。
- 10月に予定している電子カルテシステムの更新に際しては、WGにおいて多角的に検討を行い、新システムへの円滑な移行を進める。

2 福岡市民病院における経営改善の推進

- ① 新型コロナウイルス感染症対策においては、引き続き福岡市の中核的な役割を果たすとともに、公立病院に求められる高度専門医療、救急医療の充実に取り組む。

また、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、現在の医療資源を最大限有効活用して経営の効率化に積極的に取り組む。

- ② 中長期修繕計画に基づき、施設・設備の長寿命化や投資の平準化を図るとともに、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえ、当該計画を適宜見直し、施設・設備の適切な維持管理に取り組む。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（令和3年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		16,658
医業収益		14,534
運営費負担金収益		1,727
補助金等収益		304
寄附金収益		6
受託収入		87
営業外収益		185
運営費負担金収益		65
補助金等収益		4
その他営業外収益		116
資本収入		207
長期借入金		-
運営費負担金		207
寄附金		-
補助金等		-
その他収入		-
計		17,050
支出		
営業費用		15,615
医業費用		15,442
給与費		9,224
材料費		3,404
経費		2,716
研究研修費		98
一般管理費		172
給与費		124
経費		48
営業外費用		170
資本支出		3,294
建設改良費		2,526
償還金		768
その他の支出金		-
計		19,079

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額9,348百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

2 収支計画（令和3年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額	
収益の部		17,097	
営業収益	営業収益	16,912	
	医業収益	14,534	
	運営費負担金収益	1,727	
	補助金等収益	304	
	寄附金収益	6	
	資産見返負債戻入	254	
	受託収入	87	
	営業外収益	185	
	運営費負担金収益	65	
	その他営業外収益	120	
臨時利益		-	
費用の部		17,283	
営業費用	営業費用	17,113	
	医業費用	給与費	9,406
		材料費	3,404
		経費	2,721
		減価償却費	1,226
		資産減耗費	2
		研究研修費	98
		一般管理費	179
	その他営業費用	78	
	営業外費用	170	
臨時損失		-	
純利益		▲ 186	
目的積立金取崩額		-	
総利益		▲ 186	

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

3 資金計画（令和3年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	21,570
業務活動による収入	16,843
診療業務による収入	14,534
運営費負担金による収入	1,793
その他の業務活動による収入	516
投資活動による収入	207
運営費負担金による収入	207
その他の投資活動による収入	-
財務活動による収入	-
長期借入れによる収入	-
その他の財務活動による収入	-
前事業年度からの繰越金	4,519
資金支出	21,570
業務活動による支出	15,785
給与費支出	9,348
材料費支出	3,404
その他の業務活動による支出	3,033
投資活動による支出	2,402
有形固定資産の取得による支出	2,402
無形固定資産の取得による支出	-
その他の投資活動による支出	-
財務活動による支出	892
長期借入金の返済による支出	536
移行前地方債償還債務の償還による支出	232
その他の財務活動による支出	124
翌事業年度への繰越金	2,491

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

2,000 百万円

2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余金が生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（令和3年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	2,402	前中期目標期間繰越積立金等

2 人事に関する計画

人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに，教育・研修体制の充実等により，職員のモチベーションの維持・向上を図る。

また，適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに，有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い，効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。